

2. 道路ネットワークの形成による高速道路交通状況の整理 .....	2-1
2.1 首都圏における高速道路の交通状況変化 .....	2-1
2.1.1 高速道路ネットワーク開通、料金改訂状況 .....	2-1
2.1.2 開通、料金改訂前後の交通量、速度の変化 .....	2-3
2.2 公表資料の整理 .....	2-7
2.2.1 圏央道記者発表資料 .....	2-7
2.2.2 高速道路の渋滞ワーストランキング .....	2-8

## 2. 道路ネットワークの形成による高速道路交通状況の整理

### 2.1 首都圏における高速道路の交通状況変化

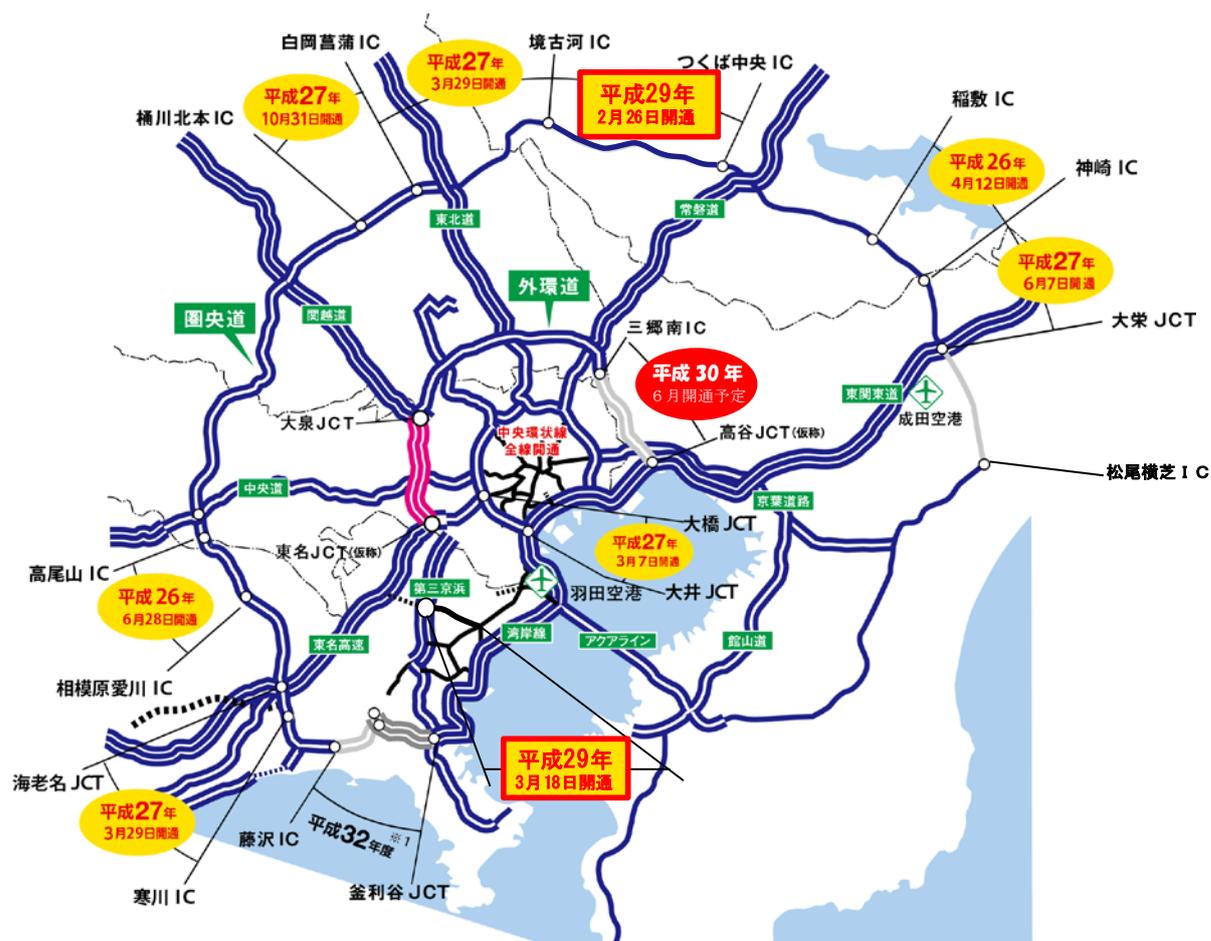
3環状においては、圏央道が段階的に開通し、既供用区間である埼玉外環の料金改訂が行われるなど交通状況への影響が想定される変化が発生している。

首都圏における高速道路の交通状況変化は、圏央道内側の変化状況を整理し、交通状況の変化について把握整理を行った。

#### 2.1.1 高速道路ネットワーク開通、料金改訂状況

H29年度前後における圏央道内側の交通状況変化は以下のとおりである。

- ・平成29年2月26日：圏央道境古河IC～つくば中央IC開通（東北道と常磐道が圏央道で接続）
- ・平成29年2月26日：外環（大泉IC～三郷南IC間）は対距離制料金へ移行
- ・平成29年3月18日：横浜環状北線開通



出典：国土交通省関東地方整備局 HP より作成（H29.4時点の道路整備状況）

※1 開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

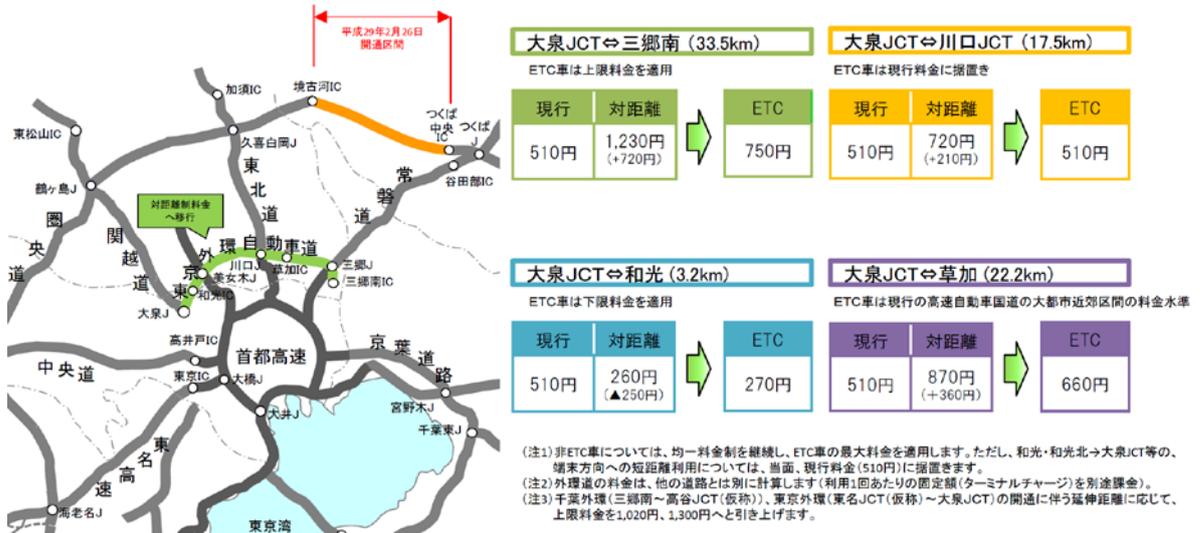
図 2.1-1 3環状の開通状況

外環の料金体制は、圏央道の開通に伴い対距離制へ移行されている。

## 圏央道の開通に伴う外環道の新料金について

別添1

○平成28年4月1日より導入してきた首都圏の新たな高速道路料金について、圏央道(境古河～つくば中央)が平成29年2月26日に開通することに伴い、同日午前0時より、外環道の料金を、対距離制を基本とした料金へ移行します。



## 外環道を迂回利用した場合の料金調整について

○平成29年2月26日(日)0時から、首都高速道路都心環状線内のICを発着し放射高速道路を利用するETC車が、外環道を1ジャンクション(JCT)間のみ迂回利用した場合であっても、原則として、直行した場合と同じ通行料金となるよう、首都高速道路と外環道の通行料金を調整します。

○環状機能を有する外環道で通行料金を調整し(①)、調整しきれない場合は、さらに首都高速道路で通行料金の調整を行います(②)。

### ① 東北道(岩槻IC)⇔都心環状線(霞が関IC)

直行経路	岩槻	川口JCT	首都高	都心	料金
(A)	●	●	●	●	1390円
美女人木JCT経由 (B)	●	●	●	●	1800円 ⇒ 1390円
三郷JCT経由 (C)	●	●	●	●	1830円 ⇒ 1390円

### ② 常磐道(柏IC)⇔都心環状線(霞が関IC)

直行経路	柏	三郷JCT	首都高	都心	料金
(D)	●	●	●	●	1370円
川口JCT経由 (E)	●	●	●	●	1950円 ⇒ 1370円



(注1) ETC車・普通車の料金で、現行のNEXCOの料金割引は考慮していません。  
 (注2) 料金所の料金表示器やETC車載器などには、首都高速道路と外環道の調整後の料金が表示されません。後日、カード会社などからの請求は調整後の料金となります。  
 (注3) 首都高速道路と外環道、外環道と放射高速道路をそれぞれ一定時間以内において通過する場合において料金の調整が行われます。

出典：圏央道の開通に伴う外環道の新料金について (NEXCO 中日本HP H29.2)

図 2.1-2 圏央道の開通に伴う外環道の新料金について

2.1.2 開通、料金改訂前後の交通量、速度の変化

前述したネットワーク開通、料金改訂は平成 29 年 2 月～3 月に開通、改訂されている。

以下では、その前後の交通状況の変化を把握するため、平成 28 年（4～6 月）、平成 29 年（4～6 月）の交通量、速度状況の変化を把握整理した。

整理した結果は、平日、休日ともに同様の傾向となっており、中央道（平日）で交通量の増加が見られるなど、都心部へ集中する交通の分散を図る環状道路の必要性は変わらないと考えられる。

(1) 平日

1) 交通量

交通量の変化は、圏央道が 12～14 千台/日増加しており、開通区間に並行する外環（川口東 JCT～草加 IC 間）が 3 千台/日減少している。

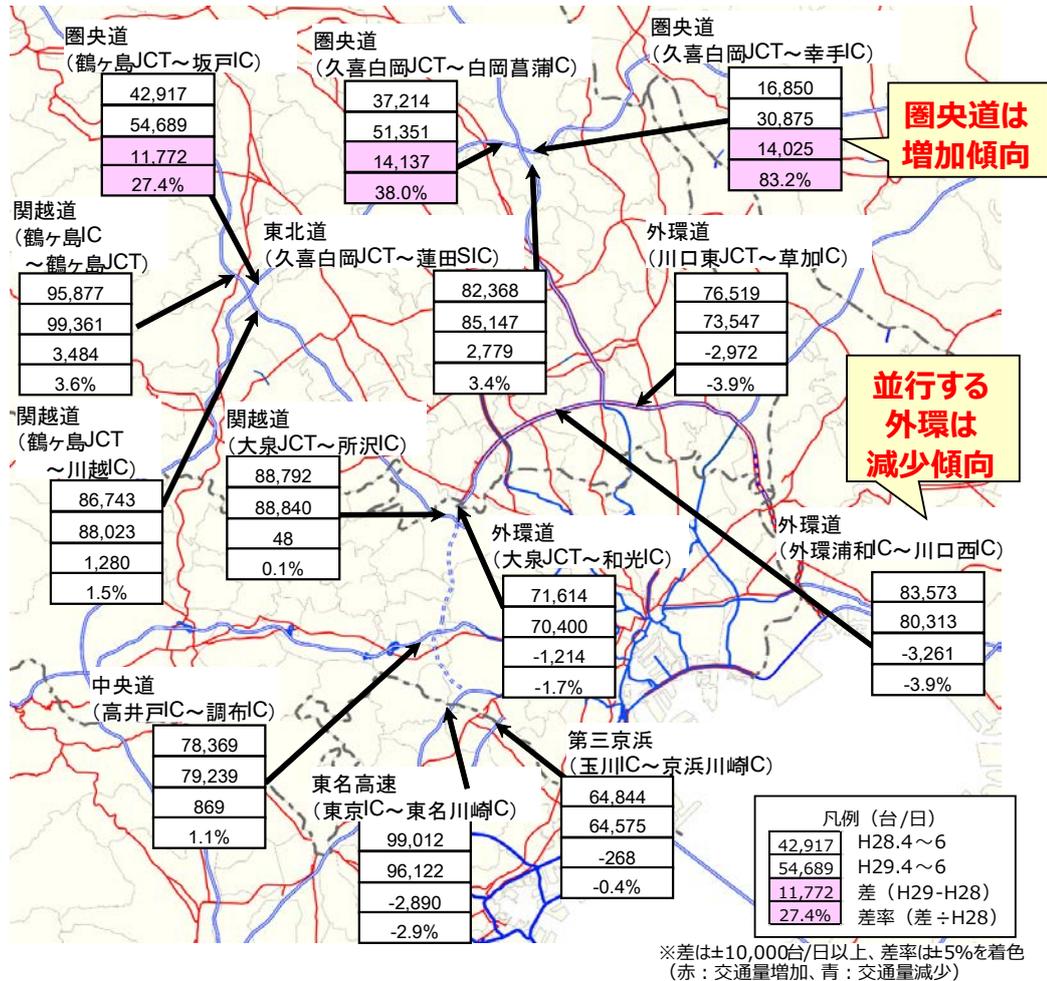
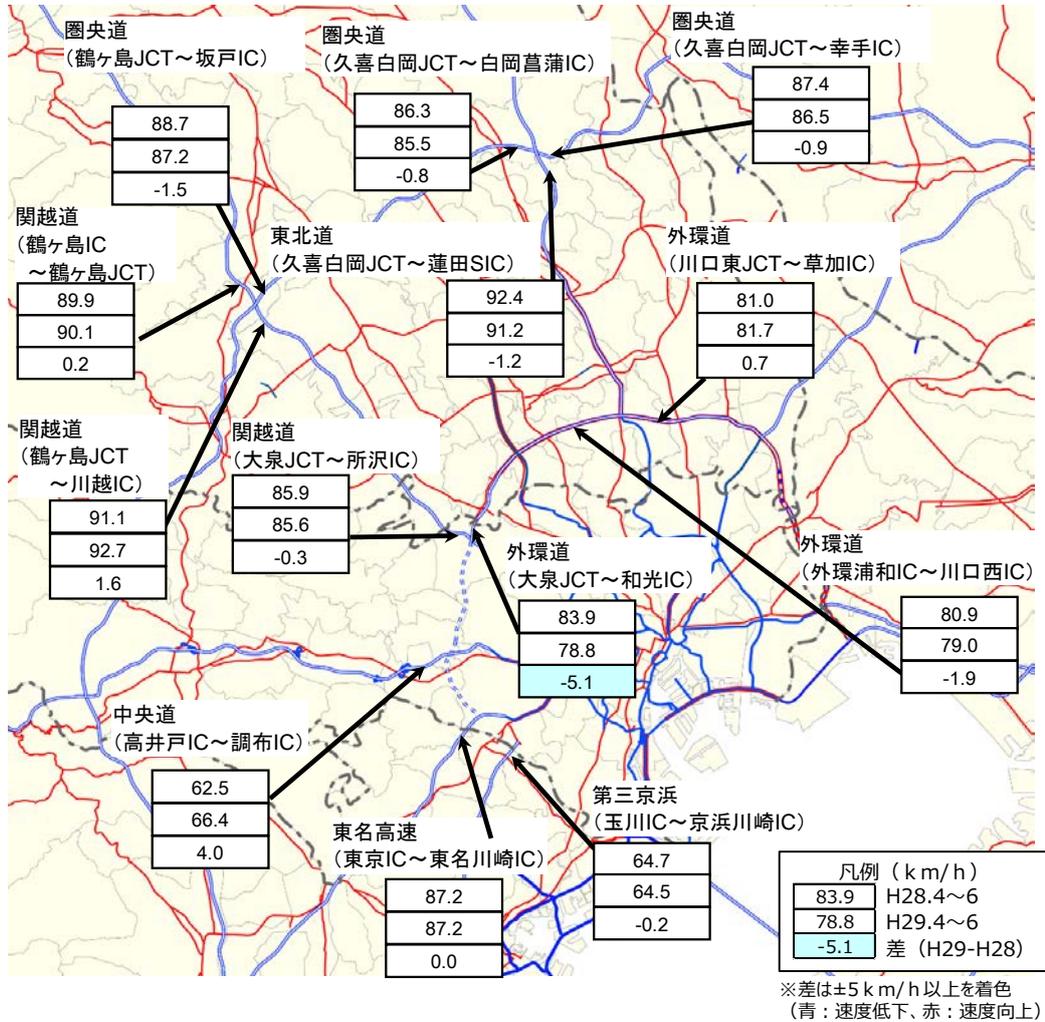


図 2.1-3 交通量：24 時間合計 (平日)

2) 速度

速度は概ね 1 km/h 前後の差で増減しており大きな変化はない状況となっている。

なお、交通量、速度の関係性が一部合わない区間が存在するが、一部の日時に交通が集中し関係性が変化したと想定される。



出典：トラカンデータ

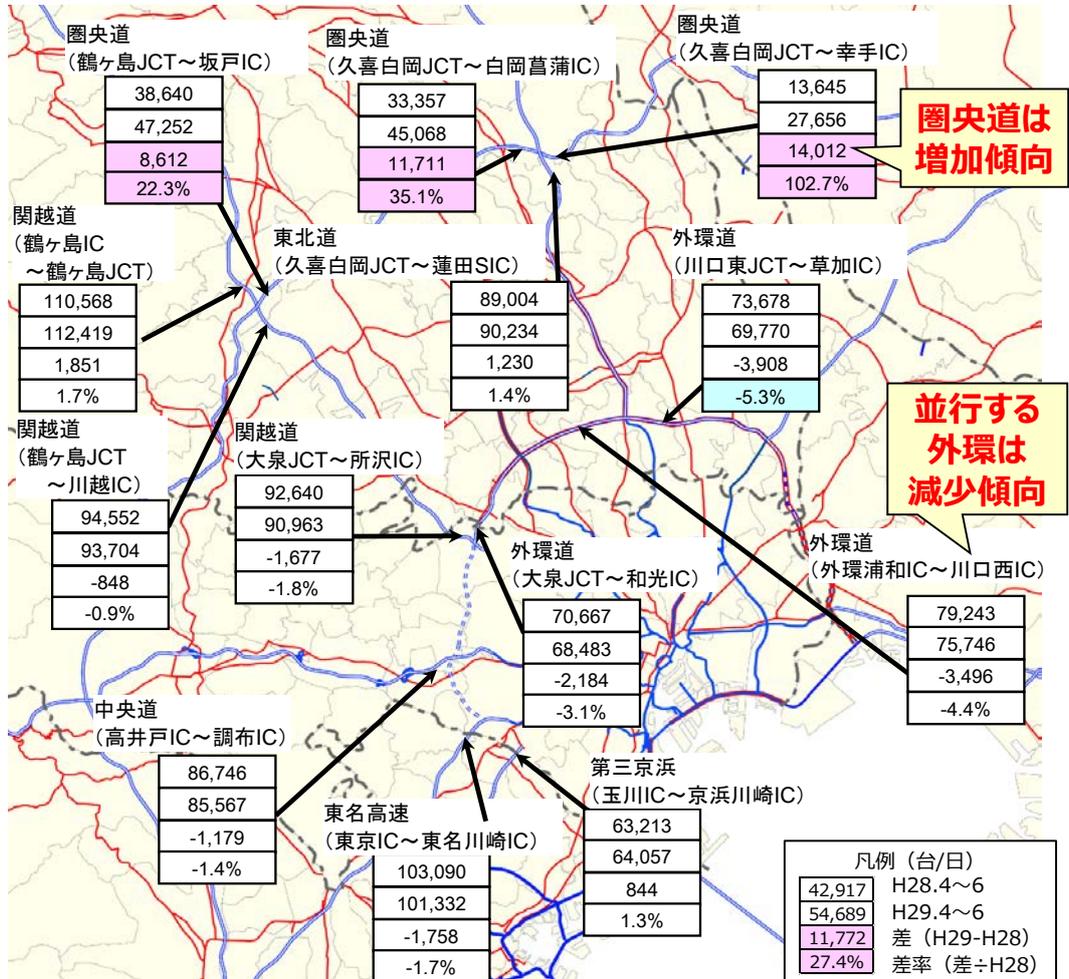
※外環道 (大泉 JCT~和光 IC) は開通、料金改訂後に 5.1km/h の速度低下が発生しているが交通量は減少 (前：71,614 台/日→70,400 台/日) しており今後継続的にデータを確認する必要があると想定される

図 2.1-4 速度：24 時間平均 (平日)

(2) 休日

1) 交通量

休日も平日同様の傾向となっており、圏央道が 9~14 千台/日増加しており、開通区間に並行する外環（川口東JCT~草加IC間）が4千台/日減少している。



※差は±10,000台/日以上、差率は±5%を着色  
(赤：交通量増加、青：交通量減少)

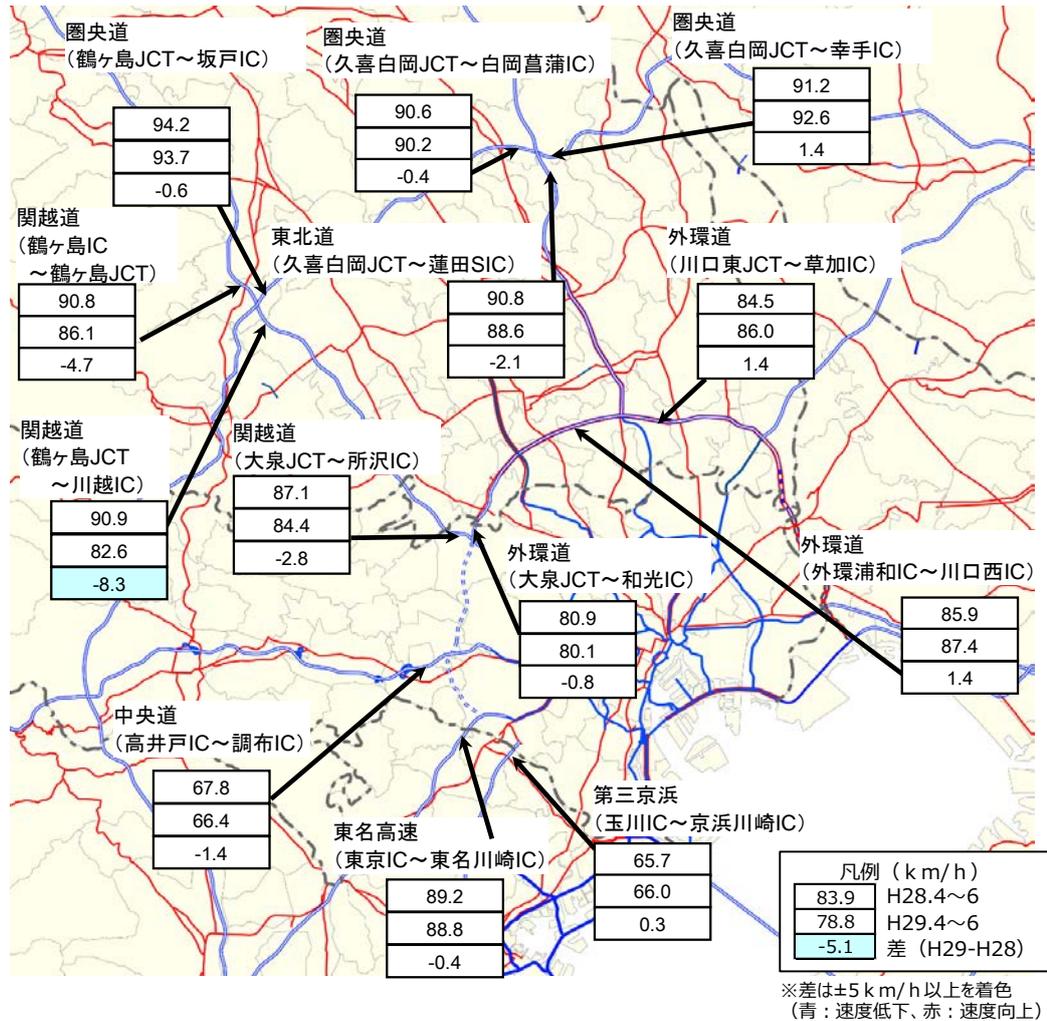
出典：トラカンデータ

図 2.1-5 交通量：24 時間合計（休日）

2) 速度

速度は関越道、東北道で低下傾向となっており、休日における一部の時間帯で交通集中が発生したことが要因と考えられる

なお、交通量と速度の関係性が一部合わない区間が存在するが、一部の日時に交通が集中し関係性が変化したと想定される。



出典：トラカンデータ

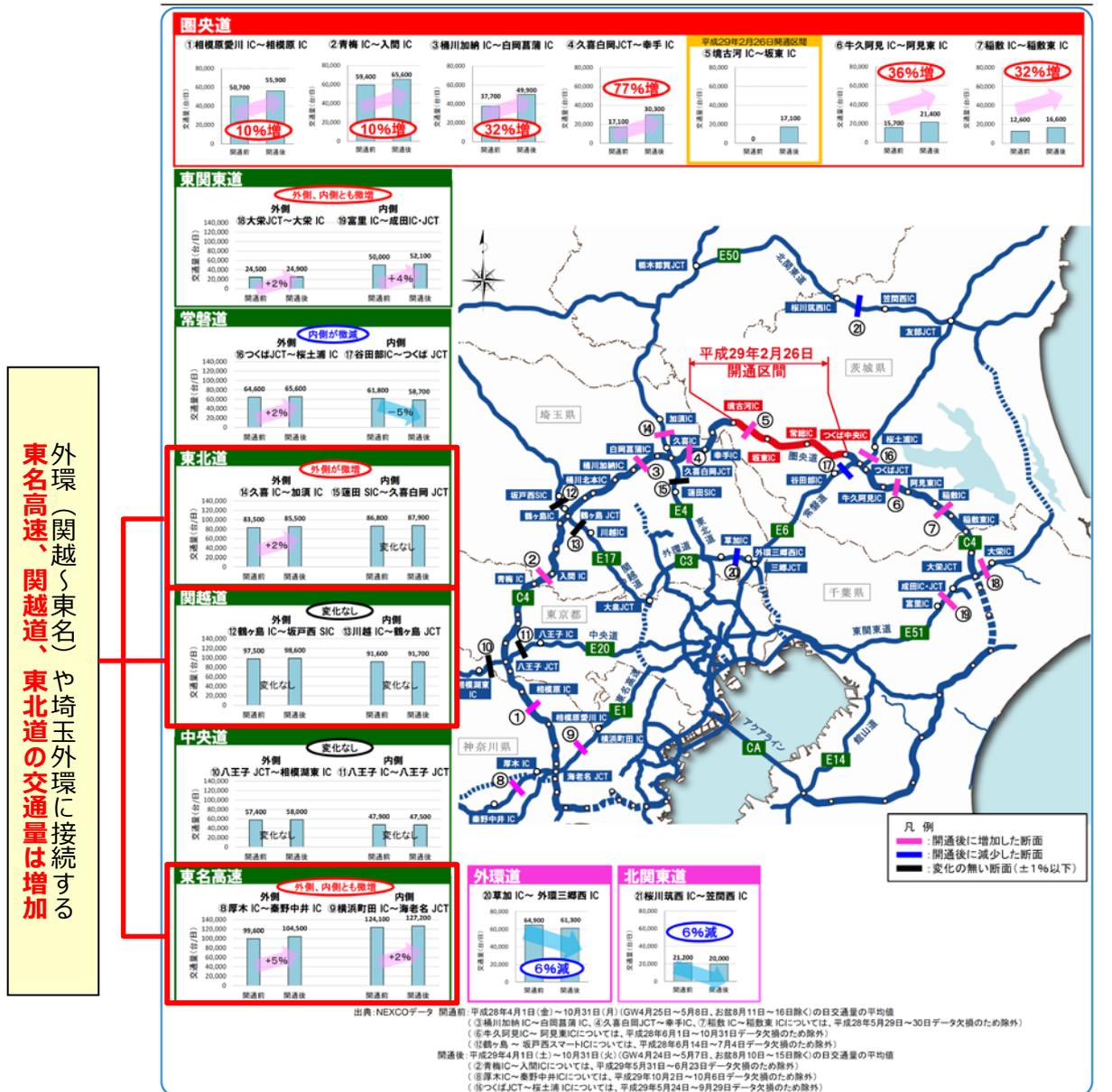
図 2.1-6 速度：24時間平均（休日）

## 2.2 公表資料の整理

### 2.2.1 圏央道記者発表資料

3環状の最新の公表資料は、圏央道茨城県区間全線開通後の記者発表資料となっている。

それによると、外環（関越～東名）や埼玉外環に接続する東名高速、関越道、東北道の交通量は増加傾向となっており、圏央道茨城県区間開通後も首都圏の環状機能の必要性は変わらないと考えられる。



7/9

出典：圏央道茨城県区間全線開通後の整備効果記者発表資料

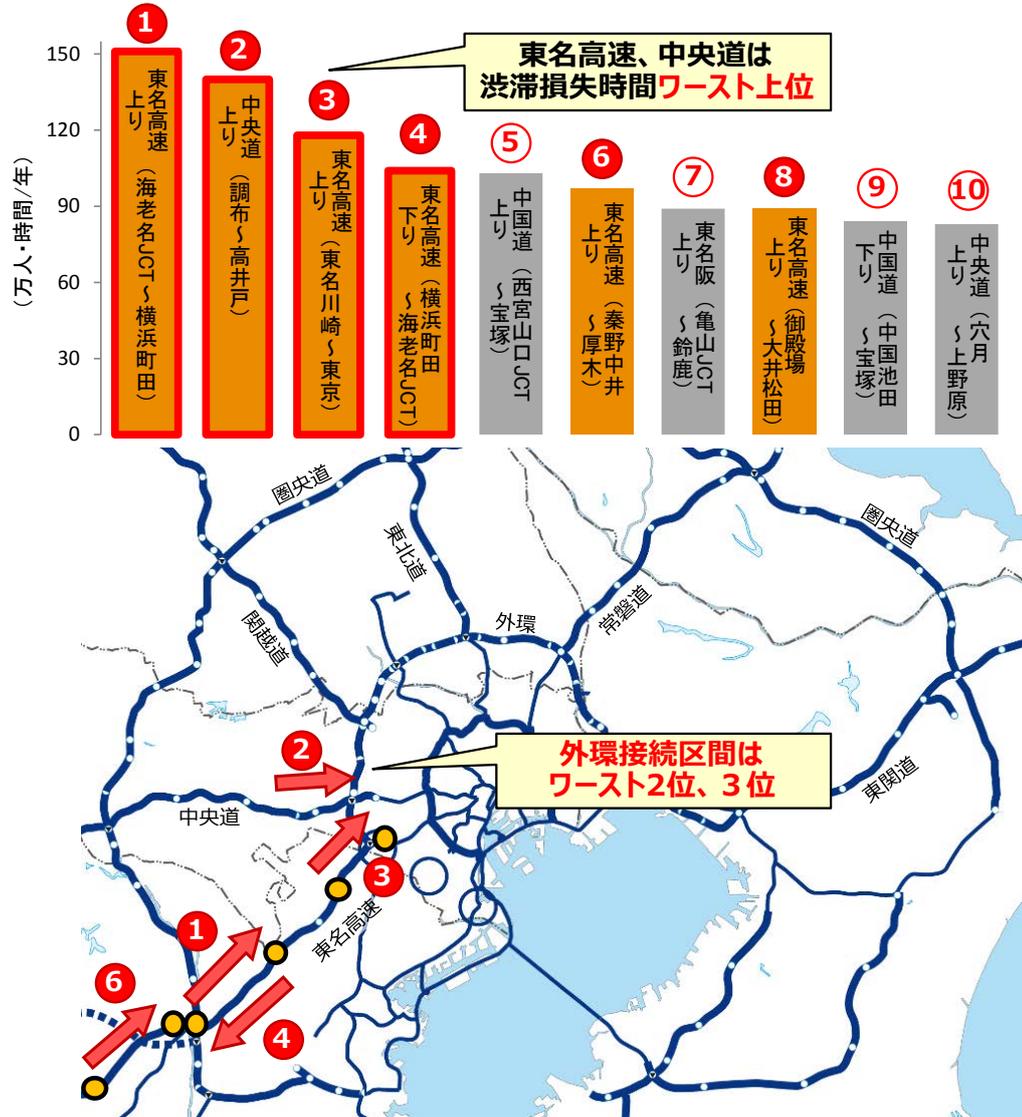
(国土交通省 東日本高速道路(株) H29.11)

図 2.2-1 圏央道茨城県区間全線開通後の記者発表資料

### 2.2.2 高速道路の渋滞ワーストランキング

外環に接続する東名高速、中央道は渋滞ワーストランキング上位を独占しており、外環（関越～東名）に接続する区間もワースト第2位、3位となっている。

なお、H28年が最新のため開通、料金改訂前後の変化を明確に捉えられないが前述した交通量の変化状況からランキングに大きな変化はないと想定される。



出典：国土交通省「高速道路の交通状況ランキング」（平成28年（1～12月）年間データ）

※東名高速、中央道を着色し、圏央道内側を赤囲み

図 2.2-2 高速道路の渋滞状況 IC 区間別・渋滞ワーストランキング（年間合計）

(公表資料抜粋)

順位	渋滞損失時間 <sup>※3</sup>	都道府県	道路名	方向	区間名	延長(km)	H27順位
1	151	神奈川・東京	E1 東名高速道路	上り	海老名JCT～横浜町田	13.8	1
2	140	東京	E20 中央自動車道	上り	調布～高井戸	7.7	4
3	118	神奈川・東京	E1 東名高速道路	上り	東名川崎～東京	7.7	2
4	104	東京・神奈川	E1 東名高速道路	下り	横浜町田～海老名JCT	13.9	3
5	103	兵庫	E2A 中国自動車道	上り	西宮山口JCT～宝塚	10.3	5
6	97	神奈川	E1 東名高速道路	上り	秦野中井～厚木	15.1	6
7	89	三重	E23 東名阪自動車道	上り	亀山JCT～鈴鹿	5.2	8
8	89	静岡・神奈川	E1 東名高速道路	上り	御殿場～大井松田	25.2	11
9	84	大阪・兵庫	E2A 中国自動車道	下り	中国池田～宝塚	6.8	7
10	83	山梨	E20 中央自動車道	上り	大月～上野原	20.5	10
11	74	三重	E23 東名阪自動車道	下り	四日市～鈴鹿	9.5	14
12	71	京都・大阪	E1 名神高速道路	下り	大山崎JCT～茨木	15.7	12
13	69	神奈川・静岡	E1 東名高速道路	下り	大井松田～御殿場	25.6	13
14	63	大阪・京都	E1 名神高速道路	上り	茨木～大山崎JCT	15.8	15
15	61	神奈川・東京	E1 東名高速道路	下り	横浜青葉～横浜町田	6.4	21
16	60	兵庫	E2A 中国自動車道	下り	宝塚～西宮山口JCT	10.3	16
17	59	埼玉	E6 常磐自動車道	上り	三郷スマート～三郷JCT	4.2	17
18	56	神奈川	E1 東名高速道路	下り	厚木～秦野中井	15.1	19
19	55	埼玉・東京	E17 関越自動車道	上り	所沢～大泉JCT	8.5	18
20	52	三重	E23 東名阪自動車道	上り	鈴鹿～四日市	9.5	20
21	51	埼玉	C3 東京外環自動車道	上り	草加～外環三郷西	6.5	24
22	51	佐賀・福岡	E3 九州自動車道	上り	鳥栖JCT～筑紫野	9.1	23
23	51	岐阜・愛知	E4 東海自動車道	上り	岐阜～豊田	9.1	32
24	50	大阪	E1 名神高速道路	上り	茨木～大山崎JCT	15.8	34
25	49	埼玉	E6 常磐自動車道	上り	三郷スマート～三郷JCT	4.2	26
26	48	千葉・神奈川	CA1 京葉自動車道	上り	幕張～花輪	3.8	28
27	46	三重	E23 東名阪自動車道	上り	亀山スマート～亀山JCT	5.2	36
28	44	千葉	E51 東関東自動車道	下り	湾岸市川～谷津船橋	4.1	35
29	43	京都	E1 名神高速道路	上り	京都南～京都東	10.0	39
30	42	千葉	E14 京葉道路	上り	幕張～花輪	3.8	40

外環に関連する  
東名高速、中央道、関越道は  
上位20位以内に10区間(半分)

出典：国土交通省「高速道路の交通状況ランキング」（平成28年（1～12月）年間データ）

※圏央道内側を赤囲み

図 2.2-3 高速道路の渋滞状況 IC 区間別・渋滞ワーストランキング（年間合計）